

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	地域まちづくり推進事業			事業番号	25-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	都市部	重田 浩光	都市政策課	飯田 裕一	

計 画 (Plan)

総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち	
		基本政策	8	自然と調和した住みよいまちづくり	
		施策展開の方向	1	愛着のある美しいまちをつくる	
		施策	25	地域の個性あふれるまちづくりの推進	
予算事業名	地域まちづくり推進事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	平成22年度	～	終了年度	-
関連法令等	都市計画法、都市緑地法、建築基準法、景観法				
国・県の計画等	-			計画期間	-
関連個別計画	総合計画、都市マスタープラン、緑の基本計画、景観計画			計画期間	-
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	地方分権の時代においては、創意工夫をこらし、自らの考えと責任においてまちづくりを進めていくことが重要である。また、まちづくりに対する市民ニーズの多様化や市民参加の流れの中、これまでの画一的なまちづくりから、地域の特性に応じた個性的で魅力あるまちづくりが求められる。こうした中、まちづくりに関わる各主体が基本的な理念やその役割、仕組みを共有しながら、まちづくりを進めていく必要がある。				
目的 (何をどうしたいのか)	市民発意のまちづくりを推進するため、地域の居住環境の維持改善に向けたルールづくりやまちづくり活動の実施など、地域まちづくりの課題への対応や魅力づくりなどに対する市民主体のまちづくりを支援する。				
主な対象 (誰・何を対象に)	伊勢原市地域まちづくり推進条例に基づき、市民等を対象とする。				
事業内容 (手段、手法など)	・地域まちづくり推進条例の仕組みを活用しながら、多様な主体との連携、協働によるまちづくり活動の支援などに取り組み、市民主体のまちづくりを推進します。				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	地域まちづくり推進条例の推進	継続実施	継続実施		
	地域におけるまちづくり	取組支援・拡大	取組支援・拡大		
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	地域まちづくり活動の実践件数	6件	8件	8件	



事業実施 (Do) へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	改正都市マスタープランに基づき、まちづくりへの市民参加の促進や市民等が主体のまちづくり活動の推進及び支援を図るとともに、地域まちづくり推進条例の仕組みを活用しながら、市民等、事業者、市が協働して地域まちづくりを進める。			
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外			
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者	
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先	
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容	
実施結果	項目	年度		
		28年度	29年度	
	地域まちづくり推進条例の推進	継続実施		
	地域におけるまちづくり	取組支援・拡大		
実施した取組の内容	・愛甲石田駅南口周辺整備研究会を始め、既存組織等のまちづくりの取組を推進するとともに、景観ワークショップや大学・地域と連携した市民協働事業を実施した。(9件) ・地域まちづくり推進条例に基づき、地域まちづくりグループの登録を行った。(1件)			
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度	
			28年度	29年度
	地域まちづくり活動の実践件数	6件	10件	

年度		28年度 実績				29年度 実績			
内訳	事業費合計 (a)	51	千円				千円		
	国県支出金 ①	0	千円				千円		
	地方債 ②	0	千円				千円		
	その他特財 ③	0	千円				千円		
	一般財源 (a)-①-②-③	51	千円				0	千円	
国県支出金の内容									
コスト	その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無		前回の改定時期				
		その他							
人件費	正規職員	0.05	人	433	千円		人		千円
	その他の職員	0	人	0	千円		人		千円
	人件費合計 (b)	0.05	人	433	千円		人		千円
トータルコスト (a)+(b)				484	千円				千円
単位当たりコスト	対象数	定義	地域まちづくり活動の参加者数		単位				単位
		対象数	502	人					
	総事業費／対象数	964	円						円

評 価 (Check)

<p>進捗状況 〔選択・記入〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C) 	A	左記 判断理由	<p>愛甲石田駅南口周辺整備研究会を始め、既存組織のまちづくりの取組を推進するとともに、大学・地域と連携して、持続可能な地域コミュニティの形成における実態調査を実施した。 また、地域まちづくり推進条例に基づき、地域まちづくりグループの登録(1件)を行うとともに、まちづくり審議会において地域まちづくりに係る調査検討を行った。</p>
<p>実施水準 〔選択・記入〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業 	—	他都 市事 業内 容等	<p>地域まちづくりは、地域の現状や課題等に応じて、様々な取組が重要である。それぞれの地域にあった適切なまちづくりが必要のため、一律には比較できない。</p>
<p>有効性 〔選択・記入〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C) 	A	左記 判断理由	<p>市民ニーズが多様化する中で、市民のまちづくりに対する意識は高まっており、市民等により地域のまちづくりを推進する仕組みは、地域のニーズに合った実践的なまちづくりに有効である。</p>
<p>効率性 〔選択・記入〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C) 	A	左記 判断理由	<p>市民等の主体的なまちづくりは、地域のニーズに合った実践的なまちづくりの方向が導かれる。画一的なまちづくり手法によることなく、地域の実情やまちづくりの課題に応じて、効果的な対応に努めた。</p>



取組内容の改善 (Action)

<p>所属長 による 今後の 方向性の 判断</p>	<p>方向性 〔選択〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続 	<p>事業推 進上の 課題</p>	<p>地域まちづくりを推進するためには、地域の実情を踏まえ、様々な機会を通じて地域のまちづくり活動への契機となる取組や市民主体のまちづくり活動の支援とともに、適切なまちづくり手法を検討していく必要がある。</p>
<p>次年度の取組方針</p>		<p>既存まちづくり団体の活動を支援するとともに、まちづくりへの市民参加の促進や市民等が主体のまちづくり活動の推進を図る。 また、市民協働事業など、多様な主体との連携による地域まちづくりの取組により、将来のまちづくりへ繋げていく。</p>		
<p>所管部長による総評</p>		<p>本事業は、多様な主体による相互の連携や行政との協働により、地域まちづくりを推進するものである。 引き続き、市民主体によるまちづくり活動を支援するとともに、市民協働によるまちづくりの取組の充実を図ることが大切である。</p>		